



鹿児島市立生見小学校
鹿児島市 喜入生見町
1365番地
TEL-343-0009

辰のように飛翔する一年に！

校長 勝本 祥治

令和六年一月一日の能登半島地震により、犠牲となられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災された全ての皆様によりお見舞いを申し上げます。また、被災地域の皆様の安全確保と被災された皆様の生活が一日も早く平穩に復することを祈り申し上げます。

味しているそうです。また、「辰」は「成長」や「旺盛になる状態」の意味もあり、ぐんぐんと成長していく年になると考えられそうです。龍を使った諺や故事成語はたくさんありますが、「竜頭蛇尾」（最初は勢いがよく盛んであるが、終わりになると衰えてしまうこと）や「画竜点睛を欠く」（肝心な仕上げができていない）などもあります。一月九日に行われた始業式の児童代表の言葉では、一年生が三学期に頑張ることを原稿に頼らず堂々と発表してくれました。竜頭蛇尾に終わることなく、画竜点睛を欠くことがないようにするために、一人一人が成長した自分を思い浮かべながら、目標達成に向け、計画・実行・評価・改善のサイクルを意識しながらこつこつと努力を続けることが大切です。皆さんの不断的努力が実を結び龍のごとく飛翔する一年になることを期待しています。

さて、今年の干支は甲辰（きののえたつ）です。干支は、本来、十干（じつかん）【甲（きのえ）、乙（きのと）、丙（ひのえ）、丁（ひのと）、戊（つちのえ）、己（つちのと）、庚（かのえ）、辛（かのと）、壬（みずのえ）、癸（みずのと）】と十二支とを組み合わせたものです。「甲」は、十干の最初にあたり、「生命や物事の始まり」、「成長」を意

味しているそうです。また、「辰」は「成長」や「旺盛になる状態」の意味もあり、ぐんぐんと成長していく年になると考えられそうです。龍を使った諺や故事成語はたくさんありますが、「竜頭蛇尾」（最初は勢いがよく盛んであるが、終わりになると衰えてしまうこと）や「画竜点睛を欠く」（肝心な仕上げができていない）などもあります。一月九日に行われた始業式の児童代表の言葉では、一年生が三学期に頑張ることを原稿に頼らず堂々と発表してくれました。竜頭蛇尾に終わることなく、画竜点睛を欠くことがないようにするために、一人一人が成長した自分を思い浮かべながら、目標達成に向け、計画・実行・評価・改善のサイクルを意識しながらこつこつと努力を続けることが大切です。皆さんの不断的努力が実を結び龍のごとく飛翔する一年になることを期待しています。



校内持久走大会に向けて

2月22日(金)実施予定の持久走大会に向けて、子どもたちは朝のランニングを毎日がんばっています。

全校児童が、目標をもって取り組めるように、毎回、朝ランニングしたらタブレットに記録を記入し、自分がどれだけ走っているか分かるようになっていきます。目標を立ててがんばる努力の積み重ねが、結果につながることを期待しています。



【2月の主な行事予定】

- 7日(水) 委員会活動
- 8日(木) 移動図書館
- 10日(土) 土曜授業日
- 14日(火) 性に関する指導（5年）、クラブ活動
- 22日(金) 移動図書館
- 持久走大会・家庭教育学級・学級PTA
- 第4回学校運営協議会、PTA 役員改選
- 28日(水) クラブ活動

※ 評価は4段階評価です。

学校関係者評価

評価項目	保護者	1学期との比較	関係者	1学期との比較	今後の対策
教育方針の説明	3.6	↗	3.5	↘	定期的に、また臨機応変に場を設け、学校の考えを示していく。
意見を聞く機会	3.4	↘	3.5	↗	PTAや行事等を利用して、積極的に意見を聞く場を設ける。
子どもの様子を伝える	3.8	↗	3.6	↘	学校だよりや学校HP、まなびポケットを活用して広報活動を充実させる。
教育相談のしやすさ	3.6	→	3.5	↗	担任・教頭を窓口として、相談しやすい環境を整える。
十分な安全対策	3.6	↗	3.8	↘	定期的な安全点検を生かし、早目の対応・対策を講じる。
花や緑の充実	3.9	↗	3.8	↘	季節に応じて学級園・教材園を中心に緑化の充実を図る。

今月の一句
こたつ中
まほうのあつさ
あたたまる
鶴田 杏凜

今月の一句
門松で
神様よんで
いい年に
鈴 瑛心

2学期の終わりに、児童、保護者、学校評議員の方に学校経営に対するアンケートをお願いしました。そのアンケートの結果をまとめ、今後の対策を示します。この結果をもとに今後の学校経営・学級経営に生かしていきたいと考えています。今後とも、本校の教育活動に御理解と御協力、貴重な御意見を賜りますようお願い申し上げます。

大谷翔平選手から届きました

ニュースでも話題になった、大谷翔平選手からの贈り物が生見小にも届きました。さっそく、グローブを手にしていました。クラブ活動でも活用しました。



かごしま弁作文

5年生がかごしま弁作文コンテストに応募した作品を紹介します。方言での表現は親しみがあって、雰囲気がよく伝わってきます。

ありがとうございますか

※優秀賞に選ばれました。

「何を作ったるかいは。はよしたかね。」

五年生になったら家庭科の勉強が始まった。あたいは縫いもんをすつとが、いっばんたのすんじやった。工作のごっ出来上がっていつとが楽しみじやっどねえち思っちよった。

じやっどん、始まってみたらむつかしかった。最初の玉結びでうまくいかん。糸を引張ったちん、するつとぬけっせえできん。初めてだいじよっじやろかいち心配になった。教えてもらいながら何度もやっちよったらでくごっなつた。そしたらやる気も出っきた。

小物づくりをすつことになったで、父ちゃんせえ、ボタン付きの小物を作ってあげた。

「すごかねえ。じよっじやらい。ありがとう。」

喜んでくれたとが、わっせうれしかった。

次はミシン縫いをすつたつち先生が言った。ちつとこわかどん、がんばっどち思っちよつ。

米倉 史華

ひつたまがった

「兄ちゃんがひつちやれた。おらんごなつた。」

おいはおらいだ。父ちゃんもあわてて車を停めた。兄ちゃんが乗つちよつた自転車ごとたおれっせえ、田んぼにひつちやれたのだ。今年の四月から、兄ちゃんは中学生になった。自転車通学だ。帰り道の様子を見つがということになって、父ちゃんと車で後ろをついていっちよつたら、大変なことになった。

「兄ちゃん、何で転んでんの。大じよっね。」

走っていったら兄ちゃんは、田んぼ中で泥だらけでひっくり返つちよつたどん、起き上がって急に笑い出した。そいを見て、おいも大笑いした。けががなかったでよかつた。

母ちゃんも、洗濯が大変じやつち言いながら、けががなかったでよかつたち笑ちよつた。

後ろを振り向いてふらふらしたつち。おい達のせいかも。ほんのこてひつたまがった。

米倉 一騎

よか思い出がでけた

「わっせきれいやっね。魚もずんばいおつど。」

姉ちゃんの声がすつ方に走っていったあたいは、わあち声を上げた。水が透明で、川底の石ずい何もかいい見えた。夏休みに家族で県民の森に行っせえ、川遊びをした時のことだ。

「はよ入っが、おもしろごちや。」

あたいが言うつと、父ちゃんが、

「はよ着替えっけつ。準備運動もせえよ。」

ちゆたで、姉ちゃんと大急ぎで準備した。

「つんたかー。じやっどん気持っがよか。」

きやーきやー言いながら、水をかけ合つた。

「奥のふけ所に行たてみつか。滝もあつど。」

父ちゃんに連れて行つてもろた所は、緑が濃かつせえ、何つあならんごつきれいやつた。勢いのある滝の水に打たれたら、なごは入つちゆあならんかつたどん、気持っがよかつた。

夏のよか思い出がでけた。最高じやつた。

梶 望乃

こん次は勝つど

「ここをおさえれば勝つどね。よしきばつど。」

気合を入れた。今日はソフトボールの試合。おいはピッチャー。調子もよかつた。ホームランも打つた。九回裏、四対三でツアアウト。打たれたどん、内野ゴロ。よしつち思つたとたんにショートがエラーした。あいたー。

そこから調子がくるつて連続ヒット。四対五でサヨナラ負けじやつた。がつくいきた。

試合終了のあいさつをした後、みんなだまって歩いちよつた。じやつておいが、

「打たれてごめん。次こそ絶対勝つが。」

ち言つたら、ショートの子たちも、

「エラーしてごめん。」

ち言つた。小さか声やつたで勇気がいったとじやねどかち思つた。エラーしたのを責むつとよつか、みんなで頑張つがちゆた方がよかねえち思つた。ぬっかどん、きばつど。

岡元 海音